

2021 年新入社員研修設計のポイント



私どもは人材育成・組織開発を通して、経営力アップをサポートします



株式会社オフィスムーブ

〒541-0044 大阪市中央区伏見町 4-4-9 淀屋橋東洋ビル 3F TEL 090-3846-5118

E-mail: consul@office-move.co.jp <http://office-move.co.jp/>

【目次】

今、見直すポイント	2
そもそも新入社員研修の目的とは？	3
効果的な新入社員研修を行うポイント	4
新入社員研修の必須内容	5
手法をバランスよく組み立てる	6
オンライン HR カフェのご案内	7



今、見直すポイント

2020年、人事激震。

企画していた多くの研修に大きな影響があったのではないかと思います。

特に新入社員研修は、最も混乱していた時期でもあり、予定していた研修が実施できなかった企業様が多いのではないのでしょうか。

先の見通しが立たない経済環境の中、コロナの感染状況も未だに収束の目途がたっていませんが、そろそろ具体的に2021年の新入社員研修の内容を、検討する時期になりました。

以下のような悩みをお持ちではないでしょうか。

- 慣例的に行ってきた新入社員研修を変えたいと思っているが、何を変えるか悩んでいる
- リモートワーク率の向上など、働き方が変化している中、新入社員研修で取り上げるべきテーマについて決めかねている
- このような時代だからこそ、新入社員に早期から「考え」「実行する」力を身につけて欲しい
- オンラインと集合型研修の両方のいいところを組み合わせたい
- 年間の教育費を抑えたい

企業の継続のために利益の確保は必要ですが、人材育成や組織開発を止めてしまうと何年か先には、不測の状況を乗り切る具体策を考え実行したり、業績回復後の成長の波に乗るために新しいことを具体化し、実行する人材がない、という状況に陥ってしまいます。人材育成は投資です。教育を止めてしまうのではなく、効果的な教育のあり方を共に考えたいと思います。

では、具体的に、何をどうするのがベターか。

- ・2021年の新入社員研修実施に向けて検討すべき点
- ・全社的に見て最大の効果を生み出すプログラム

について、考えを進めます。

そもそも新入社員研修の目的とは？

毎年、新入社員が入社してくるからという理由で慣例的に新入社員研修を実施していた私どもにとって、あらためて「そもそも新入社員研修の目的は何か？」を考えるいい機会になりました。

弊社では、新入社員研修の目的を下記のように再認識しております。

①企業への理解を深める

企業には市場でのポジショニングがあり、強みを生かした経営戦略をとっておられると思います。まずは新入社員にも、企業や業界、事業への理解を深めてもらう必要があります。

②社会人としての土台をつくる

社会人として強固な土台を作るためにビジネスマナーはもちろん必要ですが、「社会人としての意識」を鍛える必要があります。

③業務に必要なスキルと知識を身につける

現場での早期戦力化のために、必要な専門スキルを身につけることは必須です。

④早期離職防止

若手社員が離職する大きな原因は、仕事や職場とのミスマッチです。配属後、「こんな仕事をするとは考えていなかった」とギャップを感じ退職するケースもあります。それを防ぐためにも会社や事業、仕事の実情を正しく伝え、配属後のミスマッチを防ぐことが大切です。また、新入社員研修を通じて、同期・先輩社員・上司とのコミュニティを作り、社内でのネットワークを広げ、いざというときに頼れる関係を築くことができれば離職防止につながります。



効果的な新入社員研修を行うポイント

限られた時間、予算の中で、効果的な研修を行うために、私どもで大切にしているポイントが5つあります。

①すべての研修内容の目的を、まず新入社員にきちんと意識させる

何のための研修なのか、何を学ぶ時間なのか、そしてなぜそれを学ばなければならないかを考え、自分の言葉で表現することからスタートします。そうすることで、受け身の姿勢から主体的な学びに変わります。

②手法をバランスよく組み立てる

どうしても聞くこと・習うことなど一方的な学びの時間も必要ですが、できる限り双方向、グループでの多方向からの学びを大切にしています。

③現場(上司・先輩)を巻き込む

色々な視点から物事を多面的に考える力をつける「ケースメソッド」教育(参P6)では、新入社員から先輩社員まで様々な経験・職種の方と共に学んでいただくことが可能です。新入社員研修を活用した若手・中堅社員の育成も同時に可能です。年間の教育費を抑えたいとお考えの企業様に、お薦めのプログラムです。

④時流を考え、本当に必要な内容にする

世の中の動きに合わせて企業の経営方針も変わります。それに伴い、社員が身につけておくべき能力も変わります。「昨年行ったから」という理由で同じプログラムを取り入れるのではなく、毎年内容を考える必要があります。

⑤オンライン研修では集中力を持続させる仕組みを作る

1コマの研修を90分ではなく60分にする、少人数のワークをこまめに取り入れる、受講者が自分の意見を発信できるアウトプット型プログラムにする、などオンラインならではの仕組みが必要です。



新入社員研修の必須内容

私どもが考える新入社員研修の目的についてはP3に書かせていただきました。
内容として、スキルやマナーはもちろん必要ですが、それだけでは十分とは言えません。
働く環境が大きく変わった今、改めて研修プログラムに組み込むべき内容をご紹介します。もちろん、企業様により他にもあるかもしれません。
必須の内容としてご検討ください。

- (1) 企業や事業内容を理解する
- (2) 意識改革
- (3) ビジネスマナー
- (4) ビジネスコミュニケーション
- (5) チームワーク
- (6) 考える力
- (7) プレゼンテーション(伝える力)
- (8) モチベーションコントロール
- (9) コンプライアンス
- (10) ロジカルシンキング
- (11) スキル・知識



手法をバランスよく組み立てる

考え・行動する社員を育てるためにも、できる限り双方向・多方向から学んでいただくことを大切に、色々な手法をバランスよく組み立ててご提案いたします。

(1) 座学

事業内容の理解・コンプライアンスといった知識習得に最適です。



(2) グループワーク

・ ビジネスゲーム

仕事をしていると「目の前の仕事」のことだけで精一杯で、その前後の関連のある仕事のことや、組織全体のことを考える視点は持ちづらいものです。しかし、ビジネスゲームを使うことで全体像を俯瞰して見ることができます。例えば、街を作っていくあるビジネスゲームでは、街の人口が増えると子供も増えるから、先に公園を整備しておこうというように、1つの事象から発生する関連項目に目を向け全体最適化を意識するようになります。新入社員が仕事の全容を理解するために、ビジネスゲームを用いた研修は最適です。御社の目的にぴったりのビジネスゲームをご提案します。

・ ケースメソッド

本や講座で見たり、聞いたりしただけで失敗なく実行する力が身につくのであればどんなに楽でしょう。しかし、現実的には試行錯誤や失敗を通して学んでいくケースが多いでしょう。ケースメソッドは、実際にビジネスの現場で起きたケースをテーマに「机上の修羅場体験」ができます。先輩・上司と共に学ぶことで、参加者全員が、それぞれの経験に基づき、考える力・伝える力を磨き上げることができます。

(3) ロールプレイング

新入社員の实演に対して、指導役が丁寧にフィードバックすることでスキルアップが見込めます。

(4) OJT

集合研修のプログラムを配属先 OJT 担当者と共有することで、効果的な OJT が可能です。

(5) プレゼンテーション

上司や同僚に自分の想いを正しく伝えるためにも、顧客への提案にも必要なプレゼンテーションスキル。新入社員研修でもぜひ取り入れたい手法です。

オンライン HR カフェのご案内

オンライン研修で得にくいものがあるとすれば、「なんとなく感じる一体感」が、そのひとつかもしれません。同じ場所において、表情を見て、呼吸を感じることで、お互いの信頼関係を築き、維持することができるとしたら…。隣の人の存在を感じながら「自分はここにいてもいい」という安心感や自己肯定感を得ているとしたら…。

対面だからこそ構築できる、一体感・信頼感・安心感を築くプログラムにはどのようなものがあるのか、再考するべき時が来ています。

研修はプロセスです。深い安心感と信頼感をベースにした「考え・行動する」人材の育成をどう進めていくか、この機会に改めて皆様と一緒に考えたいと思います。

また、ざっくばらんな取り組みとして、私どもが人事担当者の方と進めているのは、「雑談や、何でも相談できるオンライン会議上でのコーヒースタイル」。

- ・今春の新人研修は思うような成果につながっていない
 - ・このまま来年3月を迎えると、どのような問題が起きるか、一度整理したい
 - ・限られた日数、予算の中で、最大限の効果を生む教育にはどのようなものがあるのか相談したい
- など、不安に感じていらっしゃることはありませんでしたらお聞かせください。
色々な事例をご紹介しながら解決策と一緒に考えたいと思います。

ご希望の方は、遠慮なくメールでご連絡ください。

物理的に隔てられてしまう今だからこそ、いつも以上にたくさんの言葉を交換し、推進力に変えていければ幸いです。

- ・オンライン会議システム ZOOM を使用いたします。
- ・折り返し担当者よりご連絡を差し上げます。



人材育成・組織開発に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

私どもは人材育成・組織開発を通して、経営力アップをサポートします



株式会社オフィスムーブ 濱田美雪

〒541-0044 大阪市中央区伏見町 4-4-9 淀屋橋東洋ビル 3F TEL 090-3846-5118

E-mail: consul@office-move.co.jp <http://office-move.co.jp/>
